香川県プランクトン情報（第 30 報）

令和 8 年 11 月 5 日発行

11 月 5 日に実施したプランクトン調査（播磨灘）の結果をお知らせします。

【概況】

・シャットネラ等の有害種は観察されませんでした。

・コシノディスカス・ワイレシーは、観察されませんでした。

・その他の珪藻類はかなり低密度ですが、津田沖の T3 においてのみ濃縮試料から大型の珪藻や群体性のタラシオシーラがみられました。

表：有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL＊コシノディスカスを除く）

調査地点	水深（m）	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンピア・ゾディアクス	コシノディスカス・ワイレシー（単位：細胞/L）
KA23	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
KA7	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
	B−1	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0

＊コシノディスカスについては試水を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

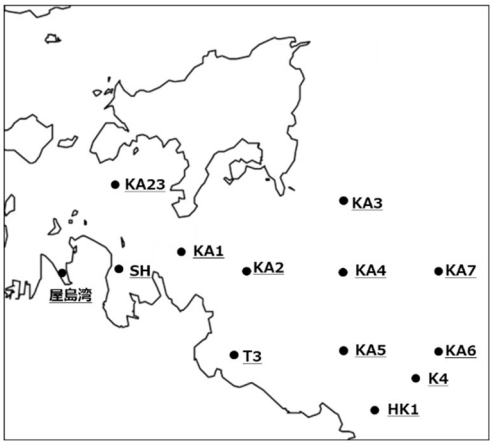
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部　赤潮研究所（担当：吉田・松下）　電話 087-843-6511

香川県農政水産部　水産課豊かな海づくり・漁港整備グループ（担当：澤田・秋山）　電話 087-832-3474

（別紙）

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



＊調査定点 SH および HK1 は夏季（赤潮発生時期）の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL （3 種の合計値）	10 細胞/mL （3 種の合計値）
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL